

# 5月のおすすめ本

## 家族のかたち

『「母と息子」の日本論』【分類 1101/シ】

品田知美/著 亜紀書房 2020年

それぞれが幸せになるために、現代日本社会における母と息子の関係性を考察した本です。

『ホカツと家族 家族のカタチを探る旅』【分類 3201/ア】

アサダワタル/著 平凡社 2019年

多様な家族像に迫りながら、親になることの楽しさと難しさをリアルタイムで語ります。

『夫のトリセツ』【分類 3202/ク】

黒川伊保子/著 講談社 2019年

夫に対する不満のしくみを、脳研究者の視点から詳しく解説しています。

『女らしくなく、男らしくなく、自分らしく生きる』【分類 3202/ツ】

露の団姫/著 春秋社 2019年

性別とらわれない家族の在り方や生き方を、落語家兼尼僧の著者が明るく考えていきます。

『猫を棄てる 父親について語るとき』【分類 6102/ム】

村上春樹/著 高妍/絵 文藝春秋 2020年

作者がこれまで避けるように触れてこなかった父親について書かれたエッセーです。戦争体験を受け継ぐ大事さに言及しています。